

開発途上国における地震防災対策の向上を目指し、8カ国10名の研究者や技術者を迎えて「重要建物の地震リスク対策強化」研修を実施します。

国立研究開発法人建築研究所は、国際地震工学研修の一環として、今年度より、開発途上国における地震防災対策の向上を図ることを目的に、課題別研修「重要建物の地震リスク対策強化」を(独)国際協力機構と連携して実施します。初回研修は、令和6(2024)年10月21日から12月13日まで実施します。

重要建物の地震災害対策のひとつとして、災害発生時の緊急対応や行政サービスが滞らないよう、庁舎や病院、消防署、警察署などの耐震性能の強化や被災後の迅速な対応が重要です。本研修ではこの考えのもと、

- ①重要建物の機能が保たれるための構造設計の考え方やその技術、
 - ②重要建物の地震リスク対策強化に寄与する既存建物の耐震診断や耐震改修等、被災前の対策、
 - ③応急危険度判定や復旧技術など被災後の対応策
- の習得を目的としています。

当研修への参加者は8カ国から選ばれた研究者や技術者10名です。10月21日に建築研究所内で開講式を行います。

<開講式の日程等>

日時：令和6(2024)年10月21日(月) 15:30～

場所：国立研究開発法人建築研究所2階講堂(つくば市立原1)

研修生の出身国と人数(単位：人)

アルメニア(1)、インドネシア(1)、ウズベキスタン(2)、エルサルバドル(1)、カザフスタン(1)、トルクメニスタン(1)、トルコ(2)、ラオス(1)

<その他研修に関する情報については、国際地震工学センターホームページを御参照ください>

(研修概要) <https://iisee.kenken.go.jp/jp/training/train/>

(ニュースレター) <https://iisee.kenken.go.jp/jp/newsletter/>

【お問い合わせ先】

国立研究開発法人 建築研究所

(内容及び開講式について)

所属 国際地震工学センター管理室

氏名 秋葉 泰彦

電話 029-879-0678

E-mail y-akiba@kenken.go.jp

(公表資料(著作権)の取扱いについて)

所属 企画部情報・技術課

電話 029-879-0652

E-mail link-cl@kenken.go.jp